



1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年10月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地	神奈川県横浜市都筑区川和町			外構の仕様	確定
用途地域	第一種住居地域	確定	<備考>		
省エネルギー-地域区分	6地域				
構造・構法	鉄骨	確定	評価の実施日	2020年6月15日	
階数	地上2F		作成者	田中 梨恵	
敷地面積	332 m ²	確定	確認日	2020年6月15日	
建築面積	107 m ²	確定	確認者	田中 梨恵	
延床面積	172 m ²				
世帯人数	3	確定			



2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.3 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅 (参照値) と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア = 3.5

Q2 長く使い続ける Q2のスコア = 4.4

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア = 4.6

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア = 3.6

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合 交通量の多い幹線道路に面しているので、道路からの距離をあげる設計とした。	その他 ZEH支援事業、横浜市ZEH普及促進補助制度
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ZEH基準を満たす断熱仕様、遮熱断熱複層ガラスの採用などによる冷房負荷の軽減。換気通風・日射調整への配慮。1階及びバルコニーに面する開口部に防犯ガラスの設置。	Q2 長く使い続ける 地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討。壁体内通気層及び連続的な断熱区画、防湿シートの設置による躯体の高耐久化。基礎スリット換気により床下の湿気を排出し、劣化の軽減。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 屋根に4.2kwの太陽光発電装置を設置。照明器具はLED照明を採用し、玄関ホールや廊下はセンサーを採用。キッチン、浴室、洗面台の水栓は節水タイプを採用。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 生産段階における廃棄物削減、施工現場における廃棄物の分別およびリサイクル推進に努めている。
	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する シンプルな大屋根とし、ツートンカラーの外装とした。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

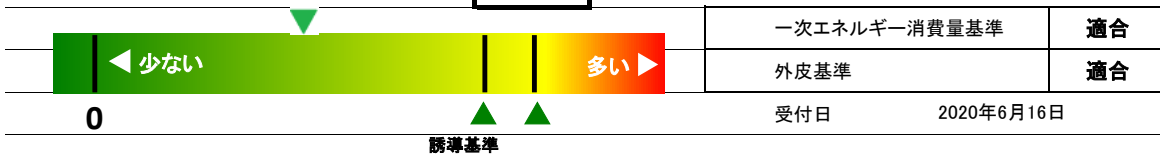
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **53** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①屋根に4.2kwの太陽光発電装置を設置。照明器具はLED照明を採用し、玄関ホールや廊下はセンサーを採用。
- ③HEMSの採用によりエネルギーの見える化を図り、省エネルギーを促す計画としている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤日本住宅性能表示基準 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)における等級3を満たしている。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑦日本住宅性能表示基準 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)における等級3を満たしている。
- ⑧日本住宅性能表示基準 劣化対策等級(構造躯体等)における等級3を満たしている。
- ⑨シンプルな大屋根とし、周辺の建物に調和するように配慮した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
太陽光利用	燃料電池 ・ コージェネレーション ・
エネルギーマネジメントシステム導入	
HEMS	



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.6
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ		3.4	0.50	3.4
1.1 基本性能		3.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	4.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.7	0.30	3.7
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	4.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		4.0	0.10	4.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.4
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材・陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		4.0	0.25	4.0
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		3.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.8
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.6
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	5.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.6
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		3.0	0.60	3.0
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	-	-
2 鉄骨系住宅		3.0	1.00	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.3
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		4.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-